

2026 年 7 月 23 日

日立 OSPO 監修、グローバル競争力を高めビジネス成果につながる OSS 戦略を解説した「OSS ビジネス活用の教科書」が刊行

経営層から実務者までを対象に、「守り」と「攻め」の戦略の基礎や、企業の取り組みの実例を紹介



株式会社日立製作所(以下、日立)の Head of OSPO (Open Source Program Office)^{*1}を務める中村 雄一が監修・共著した書籍「OSS ビジネス活用の教科書」が、7 月 8 日に日経 BP から刊行されました。本書では、経営層から実務者までを対象に、日本企業がグローバル市場で競争力を高めビジネス成果を出すための実践的な OSS 戦略を、分かりやすく解説します。セキュリティなどのリスク管理やコンプライアンス遵守といった「守り」と、コミュニティ参画によるビジネス価値創出などの「攻め」の両面から OSS 戦略の基礎を説明し、企業の取り組みの実例についても深く掘り下げています。日立は本書を通じて、グローバル市場で培った OSS の知見を広く共有し、企業や組織での OSS 活用を促進していきます。

^{*1} ニュースリリース "[日立、戦略的な OSS 活用をグローバルでリードする Open Source Program Office \(OSPO\)を設立](#)" (2024.11.8)

日立は、ミッションクリティカルな社会インフラ事業で培った安全性や信頼性を重視する文化のもと、OSS コミュニティ活動や標準化の取り組みをけん引してきました。また、こうした取り組みを通じて蓄積してきた知見をもとに、企業の OSS および AI 活用の高度化を支援しています。日立の OSS 関連の主な取り組みは下記のとおりです。

- ・2000 年～：The Linux Foundation(以下、LF)創立当初から、社会インフラ向けの Linux カーネル開発や OSS の普及に貢献
- ・2023 年：Cloud Native Computing Foundation(以下、CNCF)の Japan Chapter である CNCJ(Cloud Native Community Japan)の設立に参画
- ・2024 年：グループ全体の戦略的 OSS 活用を推進する「Hitachi OSPO」を設立
- ・2026 年：Agentic AI Foundation(AAIF)^{*2}に参画し、AI を安全・安心に活用するためのアクセス権限管理や認証・認可の世界規格の策定をリード

^{*2} お知らせ "[日立、日本企業で初めて Agentic AI Foundation に加入し、AI のアクセス権限管理の標準化を支援](#)" (2026.3.10)

今後も日立は、グローバルな OSS コミュニティとの協創を通じて、OSS のビジネス活用や AI への適用を推進していきます。また、これらの活動を通じて得られた知見を、AI で社会インフラを革新する日立の次世代ソリューション群「HMAX by Hitachi」に生かすことで、安全・安心で信頼性の高い社会インフラの実現に引き続き貢献していきます。

監修・共著者 中村 雄一のプロフィール

株式会社日立製作所 Head of OSPO、博士(工学)

2001 年～：OSS セキュリティの研究開発に携わって以降、特に国内での

SELinux^{*3}の普及活動をリードし、多数のコードをコミュニティに提供

2015 年：SELinux に関する OSS 開発活動が認められ、OSS セキュリティの

コミュニティメンバーと共に、情報処理学会より「喜安記念業績賞」を受賞

OSS Keycloak を活用した API 管理ソリューションを立ち上げ、メンテナも育成

2022 年：LF のボードメンバーに就任

2023 年：CNCF の Japan Chapter である CNCJ の設立に参画

2024 年：LF Japan 初代エバンジェリスト就任、Head of Hitachi OSPO に就任

2025 年：CNCF Governing Board 就任

CNCF より、OSS コミュニティへの多大な貢献を称える功労賞「Chop Wood Carry Water Award」を受賞

*3 SELinux (Security-Enhanced Linux)は Linux システムにアクセスできるユーザを詳細に制御できる Linux カーネルの組み込みモジュール



書籍情報

- 書名：OSS ビジネス活用の教科書「守り」と「攻め」の実践的オープンソース戦略
- 著者：中村 雄一、桑田 昌行、渡邊 歩、福安 徳晃
- 発行：日経 BP
- 価格：印刷書籍版・電子書籍版 各 3,520 円（税込）
- 本文：299 ページ
- 発行日：2026 年 7 月 8 日
- 対象読者：OSS の導入・ビジネス活用を検討するトップマネジメント、ミドルマネジメント
OSS 開発・運用に携わる実務者・エンジニア
- 商品ページ：<https://www.amazon.co.jp/dp/4296071424> (Amazon)
<https://books.rakuten.co.jp/rb/18680987/> (楽天ブックス)
- 商品情報：<https://bookplus.nikkei.com/atcl/catalog/26/06/18/02667/> (日経 BOOK プラス)

書籍の構成

経営層から実務者までを対象に、OSS 戦略の基礎から実践的な企業の取り組みまでを解説。セキュリティなどのリスク管理やコンプライアンス遵守といった「守り」と、コミュニティ参画や人材育成を通じてビジネス価値を創出する「攻め」の両面から紹介。本書の構成の詳細はこちらをご参照ください。

[はじめに：『OSS ビジネス活用の教科書「守り」と「攻め」の実践的オープンソース戦略』](#)

- 第 1 章 オープンソースの基本を知る
- 第 2 章 リスク対処で知っておくべきこと
- 第 3 章 「守り」のオープンソース戦略を実践する

- 第4章 ビジネス価値を高める「攻め」のオープンソース戦略
- 第5章 攻めの戦略を支える人材とその育成
- 第6章 オープンソース戦略の司令塔「OSPO」

関連サイト

- Hitachi OSPO について

<https://www.hitachi.co.jp/products/it/oss/ospo/?ni=260723>

- 日立のクラウド Cloud Native Computing Foundation(CNCF)の活動

<https://www.hitachi.co.jp/products/it/harmonious/cloud/articles/cncf/?ni=260723>

- 日立のセキュリティ

<https://www.hitachi.co.jp/products/it/security/?ni=260723>

- HMAX について

<https://www.hitachi.co.jp/products/it/lumada/hmax/?ni=260723>

商標注記

- 記載の会社名、製品名などは、それぞれの会社の登録商標もしくは商標です。

お問い合わせ先

株式会社日立製作所 AI & ソフトウェアサービスビジネスユニット

お問い合わせフォーム：<https://www.hitachi.co.jp/it-pf/inq/NR/>

以上